

令和5年度 大船渡市立博物館 教育普及事業
体験学習「縄文土器をつくろう！」の実施について

1 趣 旨

気仙地方には、縄文時代の遺跡が数多く所在します。縄文時代の暮らしを支えた道具のひとつに「縄文土器」があり、市内の遺跡からも多くみつかっています。

形づくりから焼成まで、縄文土器の製作過程を体験することを通して、縄文人の技術と知恵を探り、郷土の歴史の理解と普及を図ります。

2 主 催

大船渡市立博物館

3 協 力

三陸ジオパーク推進協議会

4 日 時

- (1) 形づくり 令和5年7月30日（日）
初級者向け：午前9時から正午
中級者向け：午後1時30分から4時30分
- (2) 野 焼 き 令和5年8月6日（日）午前9時から午後4時
※雨天時の予備日8月11日（金・祝）または8月20日（日）

5 会 場

- (1) 形づくり 大船渡市立博物館 多目的ホール
- (2) 野 焼 き 大船渡市立博物館 駐車場

6 対 象

形づくり、野焼き共に小学生以上。ただし、小学生は保護者同伴、付添で小学生未満の子どもを連れてくる場合、申込時に相談してください。

(1) 形づくり

初級者向け：土器づくりが初めての方。土器づくりを一から学びたい方。

中級者向け：土器づくりや陶芸の経験がある方。粘土紐を積み上げて基本的な土器の形をつくることのできる方。

定員は各回18名、計36名。

(2) 野焼き

形づくり参加者は原則参加。縄文土器の野焼き等を体験したい方。

定員は計50名。

※初級者・中級者いずれの参加者も野焼きは合同で実施し、野焼きのみの参加も可とします。

7 内 容

(1) 形づくり

初級者向け：土器のつくり方を学び、形づくり、文様つけを行います。

中級者向け：実物の縄文土器（深鉢）をモデルとし、土器づくりを行います。

(2) 野焼き

まいぎりで火をおこし、空焚きをして火床をつくり、土器を焼きます。

土器を焼く間、火おこしや石器でのクルミ割りなどの縄文体験を行います。

8 講 師

当館主任学芸員

9 参 加 料

1,400 円（材料費・保険料等）／1 人

※材料費に含まれる粘土は2kgで、小型の土器2～3個分です。

粘土が不足する場合、別料金にて粘土を追加することが可能です。

※付添の方は、野焼き時のみ1人600円（保険料・体験料等）の参加料が必要となります。

10 持ち物等

(1) 形づくり タオル、汚れてもよい服装。

(2) 野焼き タオル、軍手、汚れてもよい服装（火の粉対策として、肌を覆う服が適当です。）、飲み物、昼食、帽子、熱中症対策に必要なもの。

11 申込方法

6月27日（火）から7月23日（日）までに申込フォームまたは電話で申し込みください。

申込みは先着順となりますので、定員になり次第締め切ります。

| |
|-------------------------------------|
| 担当 大船渡市立博物館 TEL 0192 - 29 - 2161 |
|-------------------------------------|